

問題解決のヒントが得られます！

第249回ゴム技術シンポジウム

トラブル解決のためのゴム分析技術 ーゴムの分散，配合，ナノ物性を知るー

主催：日本ゴム協会研究部会 分析研究分科会

協賛：日本化学会，自動車技術会，石油学会，繊維学会，日本金型工業会，日本機械学会，日本合成樹脂技術協会，
日本材料学会，日本接着学会，日本複合材料学会，日本分析化学会，プラスチック成形加工学会，
日本画像学会，マテリアルライフ学会，日本トライボロジー学会，日本レオロジー学会，（予定 順不同）

ゴム製品に関するトラブルを知り，解決に必要な分析技術を中心とした講演内容です。ゴムのテクノロジーと分析技術について経験豊富な講師による概論，また最新のナノ物性評価の現状にも触れます。

日時：2018年11月2日（金） 10：00～16：40

場所：東京電業会館・地下ホール（東京都港区元赤坂1-7-8 TEL：03-3403-5181(代)）

受講料：日本ゴム協会会員・協賛団体会員23,760円，日本ゴム協会学生会員5,400円

※受講者が日本ゴム協会の正会員でない場合でも，ご所属の会社が法人としてゴム協会員（賛助会員）の場合は2名様まで会員扱いの受講料で受付けます。

シニア制度対象会員 11,880円（60歳以上の正会員）会員外 32,400円

受講料には消費税・テキスト代を含みます。

申込方法：弊会ホームページ<http://www.srij.or.jp/>よりお申込みください（定員80名）。

送金方法：銀行振込（三井住友銀行 日比谷支店 普通No.7100847 一般社団法人日本ゴム協会）。振込み手数料は受講者側でご負担ください。一度ご入金された受講料は返金いたしかねますのであらかじめご了承ください。

問合せ先：一般社団法人 日本ゴム協会 第249回ゴム技術シンポジウム係

（〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-26 東部ビル1階）

TEL 03（3401）2957 FAX 03（3401）4143 E-mail：kenkyuubukai@srij.or.jp

	演 題	講 師・座 長
10：00～10：10	開会のあいさつ	分析研究分科会主査 星 埜 由典 【座長】住友ゴム工業(株) 坂口 祐美
10：10～11：40	ゴムのテクノロジーと分析技術 ゴムのテクノロジーを支える分析技術を概説し，その見える化技術について述べる。	元・住友ゴム工業(株) 土肥 英彦氏 【座長】三新化学工業(株) 寺田 直樹
12：30～13：20	ゴム材料の分散挙動解析 ゴム材料中のポリマー・フィラーなどの分散・界面挙動に関する分析技術について解説する。	元・住友ゴム工業(株) 土肥 英彦氏
13：30～14：20	配合を知るためのゴム分析 ゴム配合の分析に関する基礎的な内容を説明する。	日本ゼオン(株) 田村 優樹氏 【座長】（一財）化学物質評価研究機構 仲山 和海
14：30～15：20	劣化解析とトラブル解決のためのゴム分析 ゴム製品の劣化分析の基礎とトラブル解決のためのゴム分析の流れや考え方について解説する。	（一財）化学物質評価研究機構 齊藤 貴之氏
15：30～16：30	AFM/SPMによるナノ物性評価技術 ゴム材料の力学特性評価を中心に新旧技術を概説する。	オックスフォード・インストゥルメンツ(株) 谷口 幸範氏
16：30～16：40	閉会のあいさつ	分析研究分科会副主査 仲山 和海

※プログラムは一部変更になる場合がございます。

☆お申込みはホームページ<http://www.srij.or.jp/>からお願いします。